

＼女性がもっと活躍できる地域社会を目指して／

# キラっと★スマイル 八戸ナビ

28



はたなか 畑中ひとみさん(八戸工業大学STEAM女子推進・支援室 HITリケジョ LABO)

中学校卒業後に理系の学校である「八戸工業高等専門学校」で炭素を使った材料の研究に携わった「リケジョ」の畑中さん。八戸工業大学に就職し、産学連携・知的財産管理の業務を担当した後、現在は総務業務を担当しながら、理系進路を選択する女子学生の応援団のメンバーとして活躍されています。

## フレ～！フレ～！リケジョ！

女性で理系といえば、医療職だけではなく、化粧品や食品などの企画・開発や建築士、研究者支援の仕事など、幅広い就職先があります。HITリケジョ LABOでは、出前講演会やサマーキャンプを開催し、理系の仕事の幅広さを伝えたり、理系の仕事をしている先輩と話ができる機会を設けたりしています。

私たちは、理系の進路選択をためらう女子中高生の不安を取り除き、そっと背中を押してあげたいという思いで活動しています。実際に、講演を聞いてくれた生徒から「文理選択で迷いがあったが、理系に進む自信が持てた」「自分の興味があることに挑戦しようと思った」などの感想をいただきました。

## 面白いこと、好きなことを続けるみる

将来の仕事を決めて必要な資格を取れる学校に行くのも1つの道ですが、もし苦手な教科があっても、自分が面白いと思うことや好きなことを続ける、という自分の素直な視点で進学先を決めてもいいと思います。

私も、高専進学を決める際、数学が苦手だったので授業についていけるか不安でしたが、中学校で所属していた科学部での実験が面白かった、もっと続けたい、という思いが決め手になりました。

## 求められるリケジョ

土木や建築など、理系女子が活躍できる業界は増えてきていますし、今後さらに増えると思います。

私たちも現在、他機関と連携して活動することを検討しており、より幅広く、力強く「リケジョ」を応援していきます。皆さんも「はたらく理系女子」を目指してみませんか。



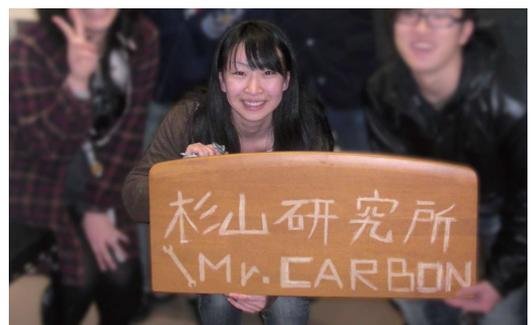
HITリケジョ LABO  
ホームページ



理系の進路を選んだ理由や職業選択についてお話ししています



実験を通じてサイエンスや工学の面白さを実感してもらいます



実験が楽しかったという高専時代の畑中さん  
「苦手な数学も先生や仲間がフォローしてくれました」

次回は4月号に掲載！

